



## セミは何を食べるの

### 植物のしるを吸う

セミは、顔の部分に、大きな注射器のような管をもっています。これがセミの口で、この管から、木や草のしるを吸って生きています。

セミの幼虫は、土の中で、成虫と同じような針の口を、木の根につきさし、そのしるを吸っています。

### セミの口があげたあなは、こん虫たちのえさ場

成虫になったセミは、木の幹や草のくきに、太くてするどい針のような口をつきさし、流れ出てくるしるを吸います。セミがおなかいっぱいになって、飛んでいってしまった後、吸っていたあなから、木のしるが、しばらくぼたぼた出てくることもあり、ハエやチョウ、カナブンなどが、そのしるに集まってくるのが見られます。

### セミの種類によって、好きな木がちがう

セミの種類によって、それぞれ、しるを吸う木や草が決まっています。きっと、味がちがうでしょう。同じ種類のセミは、同じ植物の周りに集まるので、結婚相手を探すのにも便利なのです。（監修・中山 周平）

木の幹と根で、セミは木のしるを吸う

